

平成 29 年度

「校長経営戦略支援予算配付申請書」

大阪市立長原小学校

校長 東 義孝

平成 29 年 4 月

大阪市立長原小学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算配付申請書(総括)

1 学校運営における現状と課題 ※運営に関する計画の1学校運営の中期目標欄に記載の現状と課題を再掲

- ・学力向上については、ワークシートの活用やひとり学びを通して、国語科の学習に進んで取り組み、自分の考えを深めることができた。「学習アンケート」では「ワークシートを使った学習やひとり学びに進んで取り組んだ」「国語の学習はわかる」という質問について肯定的な回答が増え、大きな成果があったと考える。さらに、ペアトークやグループ討議等のアクティブラーニングにも積極的に取り組めるようになった。今後も各学年系統性をもって、ひとり学びやペアトークを継続して指導していく。
- ・読書活動については、各学級担任の声かけや図書委員会の啓発活動などを通して活発に行われた。読書量増加を目指し、年間読書目標を設定し取り組んできた結果、目標達成者の割合は増加している。しかし、児童や学年によって読書量に差があり、読書平均冊数は減少傾向にある。読んだ本を読書ノートに記録するよう促してきたが徹底されず、読んでいるのに冊数としてカウントされていない児童もいた。今年度は平野区独自で作成された読書ノートを活用し、記録の徹底を図っていく。
- ・道徳教育の推進については、「人の役に立つ」ということについて児童の意識を高める指導に取り組んできた。学級での様々な活動やスマイル班活動、委員会活動等を通して、子ども達の頑張りをほめてきた結果、学校アンケートでも多くの児童が肯定的な回答をしており、「人の役に立っている」という意識は高まっている。今後も継続的に指導をしていくとともに、「人の役に立つ」ということが理解しにくい低学年児童には、具体的にどのような行動を指すのかを指導していく。
- ・安全教育の推進については右側歩行週間の実施や矢印の掲示、全教職員での声かけを行ってきた結果、ろう下・階段の右側歩行の意識は高まりつつある。しかし、徹底はされておらず、危険な場面も見かけることがある。今後も掲示物やコーンなど意識付けを図る工夫をしていく。
- ・体育的活動の充実については、課題である跳躍力の向上を目指し、年間を通してなわとびタイムを行ったり、ジャンピングボードを常設したりしてなわとび運動の機会を多く持ってきた。その結果、全学年の跳躍力は目標を上回ることができた。今年度も引き続き年間を通してなわとびタイムを実施していく。
- ・健康な生活習慣の確立については、就寝時間を各学年に応じて設定し規則正しい生活の意識づけを図ってきた。前年度、目標時間の達成度を1学期より向上させるという目標を立てて取り組んだが、夏休みに生活習慣が乱れ、その後改善が見られなかった。学級での指導や保健指導、保健だよりや懇談等での保護者への啓発を行ってきたが、目標達成には至らなかった。健康な生活習慣の確立については、家庭との連携が必要であるため、今後も保護者への啓発を行うとともに、学校全体での指導を続けていく。
- ・問題行動の対応については、問題行動が発生した際の組織的な対応・報告・連絡の徹底など再認識するよう努めた。保護者の評価は向上傾向にあるが、目標を達成することはできなかった。教職員の連携を強化しつつ、問題行動発生の際に迅速に対応できるよう努力していく。

・情報の発信については、ホームページのアクセス数が大きくアップした。毎日日記を更新し、学校での子ども達の活動の様子を発信してきた。また、教育方針や教育目標なども含め学校の取り組みの様子を保護者に理解してもらえるよう今後も情報発信していく。

・安全対策については、年3回、不審者・火災・地震（津波）の避難訓練や年1回、区役所・消防署・地域と合同で防災訓練を実施するなど、児童の安全対策をより良いものにするよう見直しを行ってきた。しかし、保護者アンケートの評価は横ばいであった。今後も児童の安全対策について様々な意見を聞きつつ見直しを継続するとともに、安全に対する意識を高める活動も進めていく。

2 学校運営の中期目標 ※運営に関する計画の1学校運営の中期目標欄に記載の中期目標を再掲

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○平成32年度末の保護者アンケートにおける「学校は、問題が起こったときには迅速に対応している」と答える保護者の割合を全校で90%以上にする。

○平成33年度の全国学力・学習状況調査の「学校のきまりを守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

○平成33年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、「当てはまらない（どちらかといえば、当てはまらない）」と答える児童の割合を5%以下にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○平成33年度の全国学力・学習状況調査「国語」における「書くこと」「読むこと」に関する項目の平均正答率を、大阪市平均以上にする。

○平成33年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。

○平成33年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における立ち幅とびの平均の記録を、大阪市平均以上にする。

○平成33年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」の項目について、「全くしていない（あまりしていない）」と答えた児童の割合を20%以下にする。

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小学校）

○平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする。

○平成 29 年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 85%以上にする。

○平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。

○平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

○平成 29 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、問題が起こったときには迅速に対応している」と答える保護者の割合を全校で 85%以上にする。

○平成 29 年度全国学力・学習状況調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 80%以上にする。

○平成 29 年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、「当てはまらない(どちらかといえば、当てはまらない)」と答える児童の割合を 10%以下にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

○平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。
(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと)

○平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 5.4 割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。

○平成 29 年度末の小学校学力経年調査における正答率 7.5 割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。

○平成 29 年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

○平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である立ち幅とびの平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。

学校の年度目標

○平成 29 年度の全国学力・学習状況調査「国語」における「書くこと」「読むこと」に関する項目の平均正答率を、平成 28 年度より 2 ポイント向上させる。

○平成 29 年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 70%以上にする。

○平成 29 年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」の項目について、「全くしていない（あまりしていない）」と答えた児童の割合を 25%以下にする。

4 28 年度の自己評価結果の総括 ※28 年度の運営に関する計画再掲

・学力向上については、ワークシートの活用やひとり学びを通して、国語科の学習に進んで取り組み、自分の考えを深めることができるようになった。「学習アンケート」では「ワークシートを使った学習やひとり学びに進んで取り組んだ」という質問について肯定的な回答が 1 学期より 9.2%アップしている。「国語の学習はわかる」と肯定的な回答をしている児童も 94%にもなり、大きな成果であると考え。さらに、ペアトークやグループ討議等のアクティブラーニングにも積極的に取り組めるようになった。今後も各学年系統性をもって、ひとり学びやペアトークを継続して指導していく。

・読書活動については、各学級担任の声かけや図書委員会の啓発活動などを通して活発に行われた。読書量増加を目指し、年間読書目標を設定し取り組んできた結果、目標達成者の割合は昨年度より増加した。しかし、児童や学年によって読書量に差があり、読書平均冊数は昨年度より 6 冊減った。読んだ本を読書ノートに記録するよう促してきたが徹底されず、読んでいるのに冊数としてカウントされていない児童もいた。来年度は平野区独自で作成された読書ノートを活用し、記録の徹底を図っていく。

・道徳教育の推進については、「人の役に立つ」ということについて児童の意識を高める指導に取り組んできた。学級での様々な活動やスマイル班活動、委員会活動等を通して、子ども達の頑張りをほめてきた結果、学校アンケートでも 95.6%が肯定的な回答をしており、「人の役に立っている」という意識は高まっている。今後も継続的に指導をしていくとともに、「人の役に立つ」ということが理解しにくい低学年児童には、具体的にどのような行動を指すのかを指導していく。

・安全教育の推進については右側歩行週間の実施や矢印の掲示、全教職員での声かけを行ってきた結果、ろう下・階段の右側歩行の意識は高まりつつある。しかし、徹底はされておらず、危険な場面も見かけることがある。今後も掲示物やコーンなど意識付けを図る工夫をしていく。

・体育的活動の充実については、課題である跳躍力の向上を目指し、年間を通してなわとびタイムを行ったり、ジャンピングボードを常設したりしてなわとび運動の機会を多く持つようにした。

その結果、全学年の跳躍力は目標を上回ることができた。来年度も引き続き年間を通してなわとびタイムを実施していく。

・健康な生活習慣の確立については、就寝時間を各学年に応じて設定し規則正しい生活の意識づけを図った。目標時間の達成度を1学期より向上させるという目標を立てて取り組んだが、夏休みに生活習慣が乱れ、その後改善が見られなかった。学級での指導や保健指導、保健だよりや懇談等での保護者への啓発を行ってきたが、目標達成には至らなかった。健康な生活習慣の確立については、家庭との連携が必要であるため、今後も保護者への啓発を行うとともに、学校全体での指導を続けていく。

・問題行動の対応については、問題行動が発生した際の組織的な対応・報告・連絡の徹底など再認識するよう努めた。中間評価に比べ評価は37.1%から40.3%に向上したが目標を達成することはできなかった。教職員の連携を強化しつつ、問題行動発生の際に迅速に対応できるように努力していく。

・情報の発信については、ホームページのアクセス数は昨年度より約2.5倍にもなり大きくアップした。毎日日記を更新し、学校での子ども達の活動の様子を発信してきた。また、教育方針や教育目標なども含め学校の取り組みの様子を保護者に理解してもらえるよう今後も情報発信していく。

・安全対策については、年3回、不審者・火災・地震（津波）の避難訓練や年1回、区役所・消防署・地域と合同で防災訓練を実施するなど、児童の安全対策をより良いものにするよう見直しを行ってきた。しかし、保護者アンケートの評価は横ばいであった。今後も児童の安全対策について様々な意見を聞きつつ見直しを継続するとともに、安全に対する意識を高める活動も進めていく。

5 29年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲(年度末に記述)

※シートが複数枚になってもさしつかえありません。

6 事業執行管理体制名簿

学校長 (東 義孝)
教頭 (山本 尚子)
学校事務職員 (池角 彰浩)

申請受付日

指導部で記入 →

/

【様式 2 - 1】

(所属(市費)コード 751732)

大阪市立長原小学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

年度目標	達成 状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 85%以上にする。</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○平成 29 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、問題が起こったときには迅速に対応している」と答える保護者の割合を全校で 85%以上にする。</p> <p>○平成 29 年度全国学力・学習状況調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>○平成 29 年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、「当てはまらない（どちらかといえば、当てはまらない）」と答える児童の割合を 10%以下にする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗 状況
<p>取組内容①【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の整備】</p> <p>児童の問題行動が起こったときには、教職員が連携して迅速に対応する。</p> <p style="text-align: right;">()</p>	
<p>指標 平成 29 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、問題が起こったときには迅速に対応している」の項目で「そう思う（どちらかというと思う）」の回答割合を 85%以上にする。(85%以上…B 86%以上…A)</p>	
<p>取組内容②【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の整備】</p> <p>年 3 回(不審者・火事・地震(津波))の避難訓練に加え、交通安全教室、集団下校訓練など様々な児童の安全対策を行う。</p> <p style="text-align: right;">()</p>	

<p>指標 平成29年度末の保護者アンケートにおける「学校は、子どもたちの安全対策に努力している」の項目で「そう思う（どちらかというと思う）」の回答割合を85%以上にする。(85%以上…B 86%以上…A)</p>	
<p>取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】 「きまりを守ること」の意義を考えさせ、強調週間や日常での指導を行い、児童の意識高める。</p>	
<p>指標 きまりを守ることの大切さに気づかせ、年2回以上計画的にアンケートを実施していく。(アンケートで「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と答える児童 ①右側歩行すること ②あいさつをすること ③自分の持ち物に名前を書くこと④身だしなみ(名札・黄帽子・服装) ①～④の割合の平均75%以上…B 80%以上…A)</p>	
<p>取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】 学校生活を通して相手のことを考えて行動し、互いに認め合う機会をつくり、「人の役に立つ」ということについて児童の意識を高める。</p>	
<p>指標 人の役に立つことの大切さについて気づかせ、年2回以上計画的にアンケートを実施していく。(アンケートで「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と答える児童 75%以上…B 80%以上…A)</p>	
<p>取組内容⑤【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学校からの情報を様々な方法で発信する。</p>	
<p>指標 平成29年度のホームページのアクセス数を昨年度より5%以上アップさせる。(10%以上はA)</p>	
<p style="text-align: center;">・ ・ ・</p>	
28年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 各学級での活動、スマイル班や委員会活動などを通して、子どものがんばりをほめることで、人の役に立てるという肯定的な意識は高まった。</p> <p>② 右側歩行週間の実施や矢印の掲示、全教職員での声かけにより、ろう下・階段の右側歩行の意識は高まりつつあるが、徹底できていない。</p>	
29年度への改善点	
<p>① 継続的に指導する。(「人の役に立つ」ということが理解しにくい低学年児童には、具体的にどのような行動を指すのかを示してあげる)</p> <p>② 年間2回(2・3学期)の右側歩行週間の実施。掲示物やコーンなどを作って意識させる。全教職員での声かけを行う。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度（今後）への改善点

◆基本配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

申請受付日

指導部で記入 →

/

【様式 2 - 1】

(所属(市費)コード 751732)

大阪市立長原小学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

年度目標	達成 状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標 (小学校)</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと)</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 5.4 割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。</p> <p>○平成 29 年度末の小学校学力経年調査における正答率 7.5 割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。</p> <p>○平成 29 年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>○平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である立ち幅とびの平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○平成 29 年度の全国学力・学習状況調査「国語」における「書くこと」「読むこと」に関する項目の平均正答率を、平成 28 年度より 2 ポイント向上させる。</p> <p>○平成 29 年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 70%以上にする。</p> <p>○平成 29 年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」の項目について、「全くしていない(あまりしていない)」と答えた児童の割合を 25%以下にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 家庭と連携し、各学年の読書量を増やす。</p>	
<p>指標 平野区で作成した読書ノートを活用し、1～4年生は 100 冊以上、5・6年生は 3000 ページ以上を目標として、活発に読書活動が進むように取り組む。 (達成者が 35%以上…B 40%以上…A)</p>	
<p>取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 国語学習では各学年に応じて工夫してワークシートやノートを使ったひとり学びを取り入れ、書く活動を継続する。話し合い活動では、ペアトークを中心に、活</p>	

発に話し合い活動を進める。	()
指標 国語学習アンケートの「ワークシートやノートを使ったひとり学びの学習に進んで取り組んだ」の項目で、「そう思う(どちらかといえばそう思う)」と答える児童の割合を60%以上にする。(70%以上…A)	
取組内容③【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 週1回のなわとびタイムを1年間通して実施し、ジャンピングボードを活用したなわとび運動を続けることにより跳躍力を向上させる。	
指標 1学期(5月のスポーツテスト)と2学期、3学期に立ち幅跳びの記録をとり、5月のスポーツテストの記録に比べて平均値を3cm向上することを目標とする。(3cm以上向上…B 4cm以上向上…A)	
取組内容④【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 毎学期1回1週間の生活リズムアンケートを実施し、規則正しい生活についての意識を高めていく。	
指標 低学年は9時30分まで、高学年は10時までに寝たと答える児童の割合を53%以上にする。53%以上…B 55%以上…A	
・ ・ ・	
28年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 学級担任の声かけや図書委員会の啓発活動を通して読書活動は活発になり、目標達成者の割合も昨年度より増加している。(達成者も増加) しかし、児童やクラスによって差が広がっているため、平均冊数は6冊減った。読んだ本を読書ノートに記入することがまだ習慣になっていない児童も多かった。</p> <p>② ワークシートやひとり学びの肯定的回答が1学期より9.2%アップしているので、大きな成果と言える。ワークシートやひとり学びを継続して取り組むことで、活発な話し合いが増えてきた。</p>	
29年度への改善点	
<p>① 全校で家庭学習の中に読書活動を取り入れる。また、来年度は平野区で作成された読書ノートを活用し、記入の徹底をはかる。</p> <p>② 各学年系統性を持って、ひとり学びやペアトークを継続して指導する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度(今後)への改善点	

◆基本配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

大阪府立 長原小 学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

学校申請額 798632 円

※配付上限額(※円単位)								
学校配当		学級数		学級配当		特別支援学級数		学級配当
300,000	+	7	×	50,000	+	3	×	50,000
配付上限額								
=	800000							

◆学校申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	学びサポーター 経費	9-5 教職員 管内出張旅費	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費
63000	80900	5204	61820			41148
12-4 手数料	12-7 損害保険料	13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費
		286400	8160			252000

合計
798632

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】		
国語学習では各学年に応じて工夫してワークシートやノートを使ったひとり学びを取り入れ、書く活動を継続する。話し合い活動では、ペアトークを中心に、活発に話し合い活動を進める。		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
12-1	4年 市立科学館への交通費 (長原～肥後橋) @256×32	¥ 8192
9-5	4年 市立科学館引率者の交通費 (長原～肥後橋) @576×2	¥ 1152
14-1	4年 市立科学館プラネタリウム観覧料 @240×32	¥ 7680
14-1	4年 市立科学館プラネタリウム引率者の観覧料 @ 240×2	¥ 480
12-1	3年 今昔館への交通費 (長原～天神橋筋6丁目) @300×39	¥ 11700
9-5	3年 今昔館引率者の交通費 (長原～天神橋筋6丁目) @670×2	¥ 1340

12-1	5年 読売テレビ、毎日新聞社への交通費（地下鉄八尾南大阪ビジネスパーク～地下鉄東梅田） @306×36	¥ 11016
9-5	5年 読売テレビ、毎日新聞社引率者への交通費（地下鉄八尾南大阪ビジネスパーク～地下鉄東梅田） @686×2	¥ 1372
12-1	6年 ピース大阪 大阪城への交通費（地下鉄八尾南～森ノ宮） @256×40	¥ 10240
9-5	6年 ピース大阪 大阪城引率者の交通費（地下鉄八尾南～森ノ宮） @ 576 ×2	¥ 1152
11-1	3年 昔のくらし体験 丸もち 1kg @700×8=5600 紙皿 @170×2=340 醤油 250 きな粉 200g @125×2=250 着火剤 450 木炭 3kg 1500 砂糖 500g 150 割りばし 180	¥ 8720
11-1	1・2年 花野菜の土 @1180×10	¥ 11800
11-1	長原ガーデン 花野菜の土 @1180×35	¥ 41300
13	長原ガーデン 花壇整備	¥ 86400
18-3	1～6年 学級文庫用図書 @2100×120	¥252000

取組内容②取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】
 学校生活を通して相手のことを考えて行動し、互いに認め合う機会をつくり、「人の役に立つ」ということについて児童の意識を高める。
 ()

予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
8-1	学生リーダーの謝礼金 @7000×3日×3名	¥ 63000
8-1	学生リーダーへの交通費 @2000×3名	¥ 6000

取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】
 家庭と連携し、各学年の読書量を増やす。
 ()

予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
13	芸術鑑賞（人形劇）	¥200000

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。